

ぴあ・いろは通



放課後等デイサービス 放課後クラブぴあ

児童発達支援 療育ルームいろは

《お問合せ》TEL 33-4860 (ぴあ内)

今年も残すところわずかになりました。今年も一年ぴあ、いろはをご利用いただきありがとうございました。家庭や地域での生活へ支援を広げたいと思っています。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。

《 12月行事 クリスマス製作》

療育ルームいろはでは、クリスマスブーツ作りを行いました。クリスマスブーツにシールフェルトを自由に貼っておしゃれなブーツに仕上げました。

いろはでの活動すべてにおいて大切にしていることの一つは、自立的に活動できるよう事前準備を丁寧にし、自分でできることは自分で挑戦してみようという気持ちをもってもらうことです。また、難しいわからないと思ったときは自発的に「手伝ってください」等のコミュニケーションカードを職員に手渡し、安心して最後まで取り組んでみようという気持ちをもってもらうことです。今回の製作でも、一人で取り組む子、「てつだって」カードを職員に渡して取り組む子、どの子もステキなブーツを仕上げることができていました。

放課後クラブぴあではクリスマスツリー作りを行いました。ツリーや飾りを選択して、自由に飾りました。自立を助けるために、写真入りの手順書で順番を示したり、現物を見せたりモデルを見せたりしながら製作の方法の理解に努めました。一人ひとり理解できる方法が違い、言葉や指さし、写真や現物などをそのお子さんに合わせて伝えるように心がけています。また、手添えで作業の仕方を数回伝えると、次からは自発的に飾りを手に取ってツリーにつけようとするお子さんもあり、理解できる方法で伝えることで自発性を引き出すことができるということが実感できました。



★行事手順書のコピーをご希望の方は、スタッフまでお声掛けください。

《 1月行事 》 書きぞめ

7日(月)～11日(金)

ふでを使って自由に
書いてみよう



《 アメリカ研修報告 ④ 》

シャーロットの TEACCH センターにて講義

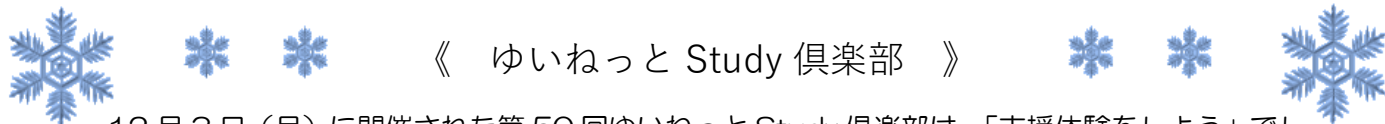
8月1日、チャペルヒルからシャーロットに移動し、シャーロットの TEACCH センターでの研修に参加しました。TEACCH センターでは、アセスメントツールとして、TTAP と PEP-3 が導入されています。それぞれの説明と、ビデオデモンストレーションがありました。

TTAP とは、自閉症スペクトラムの移行アセスメントプロフィール (TEACCH Transition Assessment Profile) です。小学校高学年くらいから成人期への移行を計画し教育を開始するためのアセスメントです。ASD の人たちが地域社会の中でよりよく適応するために必要なスキルをどの程度獲得しているのか、自立して生活するための準備は整っているか、すでにどのようなスキルを獲得しているか、新たなスキルを獲得するために活用できる現在のスキルや有効な構造化はどのようなものかなどを把握するために利用されます。

PEP-3とは、自閉症スペクトラム児の個別教育診断検査—改訂第3版（Psychoeducational Profile Third Edition）です。自閉症の早期発見と早期療育のため、一人一人の自閉症の特性を明らかにし、より適切なバリアフリー状況の構築と適切な教育目標の設定のために利用されます。対象は2歳から7歳5か月です。

ゆいねっと新居浜では、児童発達支援事業でPEP-3を活用しています。利用開始時期に一度、年長児の就学前に再度検査を行い、発達の強みと弱み、成長した部分、必要な支援について保護者と一緒に考察するために使用しています。技術はまだまだなので、今回のビデオデモンストレーションがとても参考になりました。

TTAPは、平常に使用できておらず、職員研修でトレーニングセミナーを行う際、モデルの対象把握として使用しています。参加者の中には、TTAP検査に精通されている方もいらっしゃり、お話を伺うことができたことがとても有意義でした。ゆいねっと新居浜でも学齢期のお子さんの就労移行支援のアセスメントに活用してみたいと思います。また、就労継続B型での利用時アセスメントに活用してみたいと思いました。



《 ゆいねっと Study 倶楽部 》

12月3日（月）に開催された第50回ゆいねっと Study 倶楽部は、「支援体験をしよう」でした。当法人の各事業所で使用している支援グッズ（スケジュール、ワークシステム、手順書、PECS）を参加者の方に実際に使って頂きました。

スケジュールは、見通しを持って活動するために使用します。ワークシステムは、課題学習や作業、余暇教材や宿題をするときを上から下、左から右へ机上をうまく使用して活動することができるシステムです。何をどのくらいするか、どうなったら終わりがよくわかるようなセッティングになっています。

手順書は、1コマめくり式をゲーム遊びで使用しました。写真と短い文の説明で、初めてのゲームでもルールや進め方が見てわかるように表示されています。

PECSは絵カード交換式コミュニケーションシステムで、カードを操作して相手に手渡すことで要求を伝えるシステムです。今回は、おやつでのセッションに使用しました。

保護者の方からは、「スケジュール提示で活動の順番がわかり、スムーズに安心して動けました」「家事のお手伝いとか手順書を使ったらやりやすそうだった」「本人のわかる方法で手順書を使うと初めての体験でもわかりやすかった」「PECSを使うと何をどうしたいかを訴えることができることが分かった」などとたくさんの感想をいただきました。

次回 第51回 ゆいねっと Study 倶楽部 『 家庭でのコミュニケーション支援 』

日時：1月21日（月）10:00～11:30

場所：新居浜総合福祉センター 2階 第2研修室

参加費：一般500円

・家庭での取り組み事例発表 ・コミュニケーションを豊かにする工夫を考えよう。

☆ご参加を希望される方は、1月18日（金）までにお申し込みください。

★同封のアンケートにご協力ください。事業所入り口に回収ボックスを設置します。

回収ボックス設置期間 12月25日（火）～1月17日（木）まで

★ゆいねっと新居浜 HP 内「BLOG」にて、ぴあ・いろはでの活動の様子を更新中です★

<http://yuinet-niihama.com/>

